

平成30年度 身体障害者補助犬訓練者等研修会実施要綱

1 目 的

身体障害者補助犬の訓練に必要な基礎知識、専門知識及び技術並びに身体障害者補助犬を取り巻く環境等に関する最新状況等の知識を習得させることを目的とします。

2 主 催

国立障害者リハビリテーションセンター

3 期 間

平成31年2月18日（月）～2月22日（金）

【行政担当者向けコース】 2月18日（月）～2月19日（火）

※上記2日間の参加を必須とし、他の日程の参加は任意とします。

【訓練者向けコース】 2月19日（火）～2月22日（金）

※上記4日間の参加を必須とし、他の日程の参加は任意とします。

4 場 所

国立障害者リハビリテーションセンター学院（埼玉県所沢市並木4丁目1番地）

5 受講定員

20名

6 受講資格

身体障害者補助犬の育成、普及・啓発を担当する都道府県、指定都市若しくは中核市の担当者又は身体障害者補助犬（盲導犬、介助犬及び聴導犬）の訓練に従事する者（原則として従事して5年以内）その他これに準ずると学院長が認めた者とします。

7 研修内容

別紙日程表のとおり

8 受講費用

5,300円（初日に現金徴収する。なお宿泊費及び食費は含まない）

9 受講手続

受講希望者は、当センター学院ホームページ（下記URL）にアクセスし、申込案内に従いお申し込みください。

URL http://www.rehab.go.jp/College/japanese/kenshu/schedule_2018/

10 応募締切

平成31年2月5日（火）

11 受講決定

平成31年2月6日（水）までに、ご登録頂いたメールアドレス宛てに通知します。

期日を過ぎても受講決定通知が届かない場合は、下記連絡先までお問い合わせ下さい。

12 修了証書

全講義を受講した研修会修了者、行政担当者向けコースの全講義を受講した研修会修了者、訓練者向けコースの全講義を受講した研修会修了者それぞれに対し、修了証書を授与します。

なお、遅刻、早退等があった場合、修了証書を授与できない場合もありますので御注意ください。

13 宿泊施設

- ① 当センターの研修用宿泊施設に宿泊を希望する方は、受講申込書中の宿泊希望欄の「希望する」にチェックをして下さい。
- ② 宿泊費用は一泊2,730円（初日に宿泊日数分を徴収します。）但し、宿泊は研修会初日からとし、初日の研修会終了後の入舎となります。（前泊不可）
- ③ 宿泊人数には制限がありますので、お申し込みいただいても宿泊できない場合があります。
- ④ 宿舎内での食事の提供はございません。素泊まりのみとなります。

- ⑤ 研修用宿舎のための規則があります。ご承知のうえお申し込み下さい。
入浴 17:30～22:00 門限 22:30 消灯 23:00 外泊不可
- ⑥ 宿舎の詳細については当センター学院 研修部門 HP に掲載してあります。
(トップページの「研修宿舎」)

<http://www.rehab.go.jp/College/japanese/application/files/7314/9368/2848/kensyulodgings.pdf>

14 その他

- ① お申し込み後の入力事項の誤りに気づかれた場合は「15」へご連絡ください。
- ② 研修会最終日の終了時間は、プログラムの進行上延長もしくは変更される場合があります。
お帰りの飛行機、列車等の手配は予め時間に余裕をもってご準備願います。
- ③ 一部聴講は受付しておりません。

15 本研修会の受講申込先、照会先等

〒359-8555 埼玉県所沢市並木 4 丁目 1 番地
国立障害者リハビリテーションセンター学院
TEL04-2995-3100 (内線 2612) FAX04-2996-0966
電子メール ml-gakuin-ken3@mhlw.go.jp

平成30年度身体障害者補助犬訓練者等研修会日程表

【行政担当者向けコース】：2月18日（月）～19日（火）

【訓練者向けコース】：2月19日（火）～22日（金）

月 日	午 前	午 後
2月 18日 (月)		受付 (12:00～12:20) 開講式・オリエンテーション (12:30～13:00) ①身体障害者補助犬法所管行政担当者に求められるもの (13:00～14:00) 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 企画課自立支援振興室 福祉用具専門官 秋山 仁 ②障害者理解、補助犬理解のための普及・啓発について ～行政担当者の広報戦略～ (14:10～15:10) (株) ミライロ 広報部長 岸田 奈美 ③受け入れ側の現状と課題 (シンポジウム) (15:20～17:10) JAL プライオリティ・ゲストセンター 黒沢 直子 国立障害者リハビリテーションセンター 病院第三診療部長 深津 玲子
19日 (火)	受付 (8:30～9:00) ④障害者支援の現場を知る 国立障害者リハビリテーションセンター見学 (9:00～10:00) ⑤障害者差別解消法、身体障害者補助犬法の趣旨～相互理解の促進のために～ (10:15～11:30) 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 企画課自立支援振興室 福祉用具専門官 秋山 仁	⑥【基調講演】 (12:30～14:00) (株) ミライロ 講師・コンサルタント 岸田 ひろ実 ⑦補助犬利用者の立場から (シンポジウム) (14:10～15:40) (特非) 日本補助犬情報センター 専務理事兼事務局長 橋爪 智子 助言者：(一社)日本ユニバーサルマナー協会 理事 (株) ミライロ 講師・コンサルタント 岸田 ひろ実 ・盲導犬ユーザー ・介助犬ユーザー ・聴導犬ユーザー ⑧地域生活支援事業の活用について(グループワーク) (15:50～17:20) (ファシリテーター) ・(特非) 日本補助犬情報センター 専務理事兼事務局長 橋爪 智子 ・(株) ミライロ 講師・コンサルタント 岸田 ひろ実 ・厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 企画課自立支援振興室福祉用具専門官 秋山 仁 ・国立障害者リハビリテーションセンター 学院 主幹 西田 紫郎

別紙

<p>20日 (水)</p>	<p>⑨障害の理解 (9:00~10:30) 国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局総合相談支援部 総合支援課長 工藤 裕司</p> <p>⑩肢体不自由者への支援 (10:30~11:00) 国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局第二自立訓練部肢体機能訓練課 主任機能訓練専門職 春日井 中</p> <p>⑪視覚障害者への支援 (11:10~11:40) 国立障害者リハビリテーションセンター 学院視覚障害学科 主任教官 谷 映志</p> <p>⑫聴覚障害者への支援 (11:40~12:10) 国立障害者リハビリテーションセンター 学院手話通訳学科 教官 野口 岳史</p>	<p>⑬盲導犬訓練の現状と課題 (13:10~14:40) (財)日本盲導犬協会 常任理事 多和田 悟</p> <p>⑭聴導犬訓練の現状と課題 (14:50~16:20) (福)日本聴導犬協会 会長 有馬 もと</p> <p>⑮補助犬の公衆衛生 (16:30~17:15) 厚生労働省健康局結核感染症課 課長補佐 仲川 玲</p>
<p>21日 (木)</p>	<p>⑯補助犬の健康管理・補助犬の行動学 (9:00~10:30) 日本獣医生命科学大学獣医学部 准教授 水越 美奈</p> <p>⑰補助犬の行動学 (10:40~12:10) 日本獣医生命科学大学獣医学部 准教授 水越 美奈</p>	<p>⑱介助犬訓練の現状と課題 (13:10~14:40) (社福)日本介助犬協会 常任理事兼事務局長 高柳 友子</p> <p>⑲海外の補助犬受入に向けた課題 (14:50~16:20) 日本身体障害者補助犬学会 理事 高柳 友子</p>
<p>22日 (金)</p>	<p>⑳動物愛護管理の現状と課題について (9:00~9:45) 環境省自然環境局総務課 動物愛護管理室 課長補佐 松本 英昭</p> <p>㉑指定法人における認定の現状と課題 (10:00~11:30) (社福)横浜市リハビリテーション事業団 自立支援部長 小田 芳幸</p> <p>・閉講 (11:30)</p>	

※ 講師の都合により、変更があり得ますので御了承下さい。